

第2次高梁市医療計画(案)へのパブリックコメントの募集結果

1. 意見募集の期間

令和7年1月28日(火)から令和7年2月14日(金)

2. 意見提出件数

3件(1人)

3. 提出意見の具体的概要

番号	項目	意見内容	市の考え方
1	【基本方針2】 医療従事者が誇りを持って働ける、持続可能な地域医療 【取り組みの方向性2-3】 医療従事者の確保・定着に向けた検討 【施策2-3-1】 新卒者や復職者など地域全体での人材確保・定着に向けて、市内医療機関、教育機関、行政が連携して検討を進めます。	本計画において、医療従事者の確保・定着の重要性が示されている点を高く評価します。一方で、計画内では医師や看護師の確保に重点が置かれており、薬剤師の確保についての記載が全くないことに疑問を感じております。 現在、高梁市では薬剤師数の不足が深刻な課題となっており、特に病院薬剤師の不足が医療機関の負担増加につながっています。また、地域薬局においても、今後の高齢化に伴い在宅医療等のニーズ増加することが予想されるため、薬剤師の確保と定着に向けた施策の強化が必要だと考えます。 (提案内容) 1. 薬剤師の確保・定着に向けた具体的な施策の追加 ・U・I ターン希望の薬剤師に対する奨学金制度の創設（卒業後、高梁市内の医療機関・薬局で一定期間勤務することを条件とする）	薬剤師の確保につきましても重要であることと認識しております。 また、医療従事者の確保に向けて、より明確化するために第4章「㊸医療従事者を目指す学生に対する奨学金制度の普及・改善」と記載を改めました。 現行にない医療従事者に対する制度については、市内医療機関・薬局のご意見や地域医療提供体制への影響などを踏まえて検討してまいります。

番号	項目	意見内容	市の考え方
2	【基本方針４】 地域包括ケアシステムの推進に向けた関係職種との連携強化 【取り組みの方向性４－１】 地域包括ケアシステムの推進に向けた関係職種との連携強化 【施策４－１－２】 在宅医療を担う人員等の拡充に向けて、市内医療機関等が連携して検討を進めます。	本計画では、地域包括ケアシステムの推進に向けた多職種連携の重要性が示されています。しかし、「かかりつけ医」の概念が明記されている一方で、「かかりつけ薬局・薬剤師」の記載が全くないことに疑問を感じております。 高齢者の服薬管理や在宅医療において、かかりつけ薬局・薬剤師は医師や看護師と並び、地域医療の継続性を担う重要な役割を果たすため、医療計画においても明確に位置づけるべきと考えます。 (提案内容) １．「かかりつけ薬局・薬剤師」の概念を明文化 ・「かかりつけ医」だけでなく、「かかりつけ薬局・薬剤師」を地域包括ケアの担い手として記載。 ・特に、高齢者や慢性疾患患者に対して、薬剤師が継続的に服薬管理をサポートする役割を明確化。 ２．かかりつけ薬局・薬剤師の活用促進 ・市の広報誌やホームページ等を活用し、「かかりつけ薬局・薬剤師」についての周知を強化。 ・医療機関と薬局が連携し、患者の服薬情報を一元管理できる体制を構築。 ・かかりつけ薬剤師の訪問診療チームへの参画を促進。	本計画で実施したアンケート結果によると、特に介護・福祉分野の職種から「薬剤師」との連携を希望する割合が高くなっており、地域包括ケアシステムにおいても「（かかりつけ）薬剤師」の重要性は高くなっていると考えています。 ご提案いただいた、「かかりつけ薬局・薬剤師の周知や役割の周知」については、第４章の「④地域医療に対する市内関係者へ取り組みの周知広報」の中で、検討していくこととします。 「医療機関と薬局が連携し、患者の服薬情報を一元管理できる体制を構築」については、国で進めている電子処方箋の普及が進めば達成できるものと考えています。

番号	項目	意見内容	市の考え方
3	【基本方針４】 地域包括ケアシステムの推進に向けた関係職種との連携強化 【取り組みの方向性４－２】 医療に関する市民の理解促進 【施策４－２－１】 住民の地域医療への正しい理解促進や、相互の協力が必要な取り組みの推進に向けて、医療施策の分かりやすい説明・訴求を強化します。	本計画において、コンビニ受診の抑制を始めさまざまな課題が挙げられていますが、かかりつけ薬局・薬剤師の活用によって、解決できる課題もあると考えます。各薬局ではすでに実施されているにも関わらず、医療計画には明記されていない事項が多数あります。 特に、かかりつけ薬局では市内医療機関に加えて毎日多数の市外医療機関受診者の処方せんを受付けているため、幅広い市民に医療に関する理解を深めていただくことが可能です。 (提案内容) １．かかりつけ薬局・薬剤師の活用 ・幅広く医療に関する相談を受け付け、適切な受診機会及び適切な受診先を案内する体制を構築。 ・医薬品の一元管理によるポリファーマシー対策の強化。 ２．セルフメディケーションの推進 ・かかりつけ薬局を活用し、軽症時の OTC 医薬品の適正使用によるコンビニ受診抑制への寄与。 ３．市民向け講座への薬剤師の活用 ・セルフメディケーションの推進やポリファーマシー対策について住民の理解促進。	本市では、高梁市医療介護市民公開講座や健康教室などの場で、岡山県薬剤師会高梁支部へご協力いただき、薬剤師の役割や薬の飲み合わせ等について、市民の方へ知っていただく機会を設けてきているところです。 ご提案をいただいている内容については、引き続き、このような機会を通じて普及啓発に努めてまいりたいと考えています。